



2022年3月期 決算説明資料

株式会社フレアス

2022年5月

東証グロース：7062

-  **2022年3月期 決算概要**
-  **2023年3月期 見通し**
-  **当社のSDG s**
-  **Appendix**



2022年3月期 決算概要



フランチャイズ展開が順調に進展

決算概況

- 高頻度でのサービス提供の推進を継続し、利用者1人当たり利用回数が高水準を維持したことやフランチャイズ展開が順調に進展したことに伴い、**売上高**は前期比**13.7%増**の**4,174百万円**
- コロナ禍でのコスト節減体制を維持し、**営業利益184百万円**を計上（前年同期は▲16百万円）

4Qの取り組み

- 高頻度でのサービス提供の推進を継続し、利用者1人当たり利用回数は高水準を維持、施術者1人当たりの施術回数も増加し、労働生産性を向上
- 介護施設への営業部隊である法人営業部の積極展開により、サービス提供する施設数が増加
- フランチャイズ展開においては、テレビ会議システムなどを活用した営業・研修により、加盟店の新規開拓に注力
- 看護小規模多機能型居宅介護施設1号店開設

拠点展開

- 在宅マッサージ拠点数は**326拠点**（2021/3末）⇒ **354拠点**（2022/3末）
- 訪問看護拠点数は**5拠点**（2021/3末）⇒ **8拠点**（2022/3末）
- 訪問介護拠点数は**1拠点**（2021/3末）⇒ **2拠点**（2022/3末）
- 看護小規模多機能型居宅介護施設**1拠点**（2022/3末）



決算のポイント

売上利益が回復

2022年3月期	(百万)	増減率
売上高	4,174	前年同期比 13.7%増加
営業利益	184	前年同期 ▲16百万

フランチャイズ事業が順調に進展

	2021年3月期	2022年3月期	増減数
グループ拠点数 (直営店含む全店舗数)	332	365	33

新規事業の取り組み

看護小規模多機能型居宅介護施設 第1号店開設！



2022年3月期決算の概要

- 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令された影響を受けたものの、フランチャイズ展開が順調に進展したこと等により、売上高は前期比**13.7%の増収**
- 増収に加えて、コロナ禍以降でのコスト節減体制を維持したことにより、営業利益は**黒字転換**、営業利益、経常利益、当期純利益ともに直近予想を上回った

(百万円)	2021/3期	2022/3期		対前期比	対直近予想比
	実績	実績	直近予想		
売上高	3,672	4,174	4,267	13.7%	▲2.2%
売上原価	2,047	2,095	2,083	2.4%	+0.6%
売上総利益	1,624	2,078	2,184	28.0%	▲4.8%
販管費	1,641	1,894	1,999	15.4%	▲5.4%
営業利益	▲16	184	182	-	+1.2%
営業外収益	135	49	37	▲63.7%	+31.8%
営業外費用	16	10	8	▲36.9%	+27.3%
経常利益	102	223	211	+117.3%	+5.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	59	147	123	+149.2%	+19.5%
1株当たり当期純利益	25.44	63.30	52.83	+148.8%	+19.8%
売上高総利益率	44.2%	49.8%	51.2%	+5.6pt	▲1.4pt
営業利益率	-	4.4%	4.3%	-	+0.1pt
経常利益率	2.8%	5.3%	5.0%	+2.5pt	+0.3pt

四半期別業績推移

- まん延防止等重点措置発令による影響を受けたものの、高頻度でのサービス提供の推進を継続したことやフランチャイズ展開が順調に進展したことに伴い、4Qの売上高はコロナ禍前の20年3月期4Q比においても**増収**
- 4Qにおいては、訪問看護や看護小規模多機能型居宅介護の拠点新設など新規事業の先行費用計上と新型コロナウイルス第6波によるマッサージ直営事業の損失もあり、営業損失計上

売上高

(百万円)



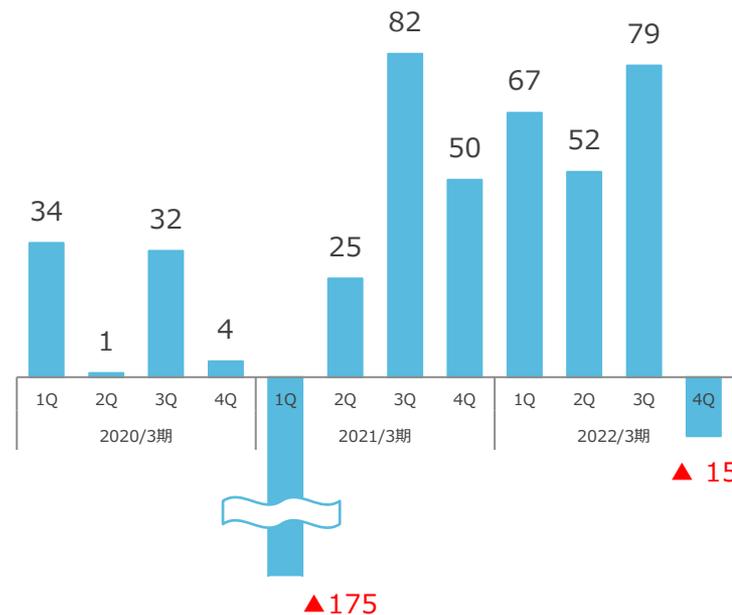
東京都における緊急事態宣言期間

東京都におけるまん延防止等重点措置期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。

営業利益

(百万円)

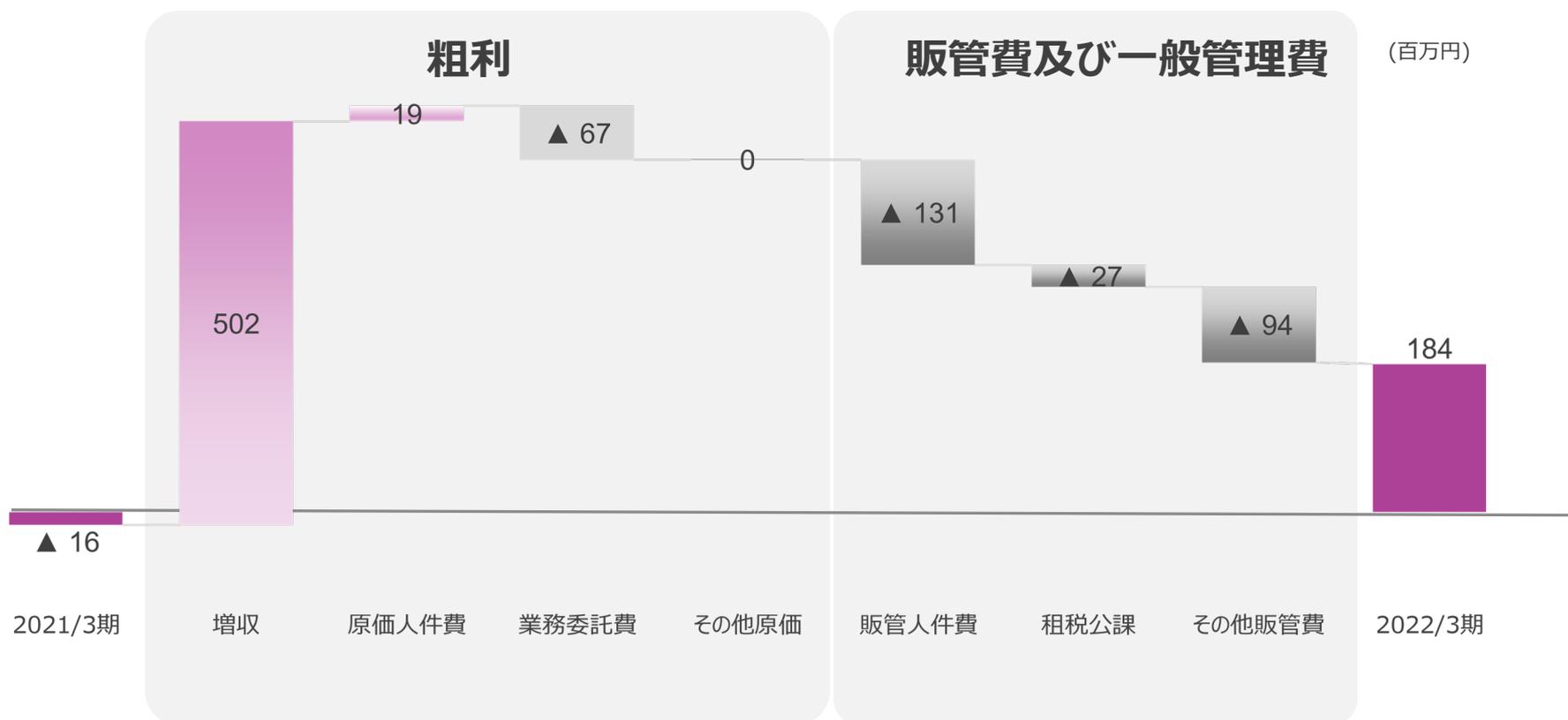


▲175

▲15

2022年3月期 営業利益増減要因（前年同期比）

- マッサージ直営店事業における利用者数及び利用者一人あたり月間利用回数の増加や、マッサージフランチャイズ事業におけるロイヤリティ収入増加等により、売上高が増加



2022年3月期決算（セグメント）

- マッサージ直営事業は、利用回数の増加に伴い、前期比**6.8%の増収**
- マッサージフランチャイズ事業は、拠点展開が順調に進展したことにより、**大幅な増収増益**
- 訪問看護事業は、拠点の新設により赤字幅が拡大
- 看護小規模多機能型居宅介護事業は、利用者数を早期獲得したことによって予想を上回る進捗

(百万円)	2021/3期	2022/3期		対前期比	対直近 予想比
	実績	実績	直近予想		
売上高	3,672	4,174	4,267	+13.7%	▲2.2%
マッサージ直営	2,988	3,192	3,273	+6.8%	▲2.5%
マッサージフランチャイズ	394	601	619	+52.4%	▲2.9%
訪問看護	288	372	370	+29.0%	+0.5%
看護小規模多機能型居宅介護	-	6	4	-	61.9%
営業利益	▲16	184	182	-	+1.2%
マッサージ直営	483	768	807	+59.0%	▲4.8%
マッサージフランチャイズ	118	190	196	+61.4%	▲3.0%
訪問看護	14	▲19	▲7	-	-
看護小規模多機能型居宅介護	▲2	▲40	▲38	-	-
調整	▲630	▲715	▲774	-	-
期末総レセプト数（件）	8,374	8,197	9,209	▲177	▲1,012
マッサージ年間利用回数（回）	613,116	647,456	662,966	+34,340	▲15,510
マッサージ拠点数（FC含む）	326	354	346	+28	+8

※期末総レセプト数は、保険適用のマッサージ+鍼灸サービスの数値を記載しております。

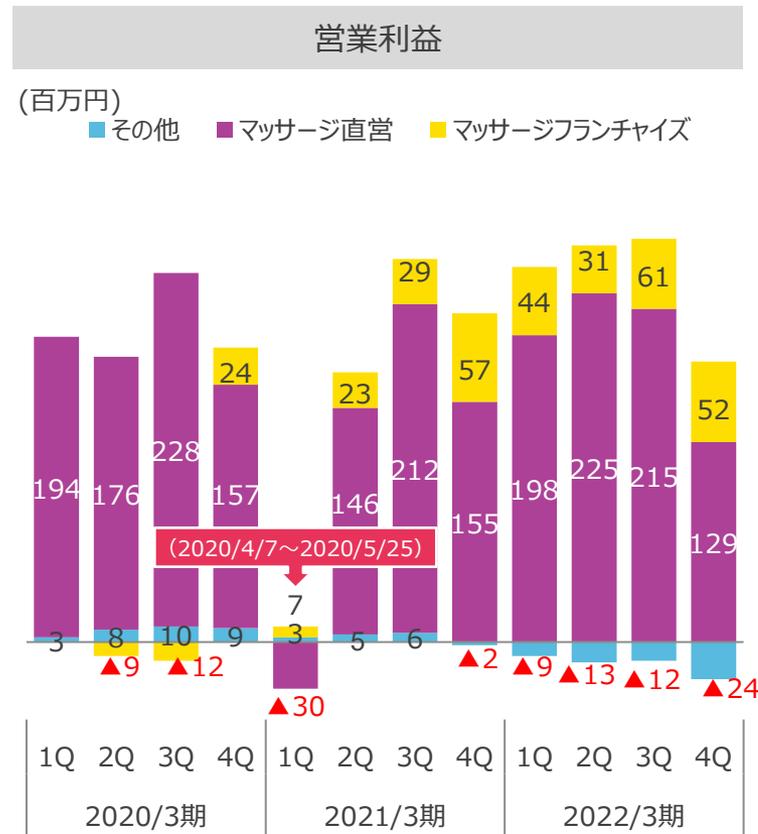
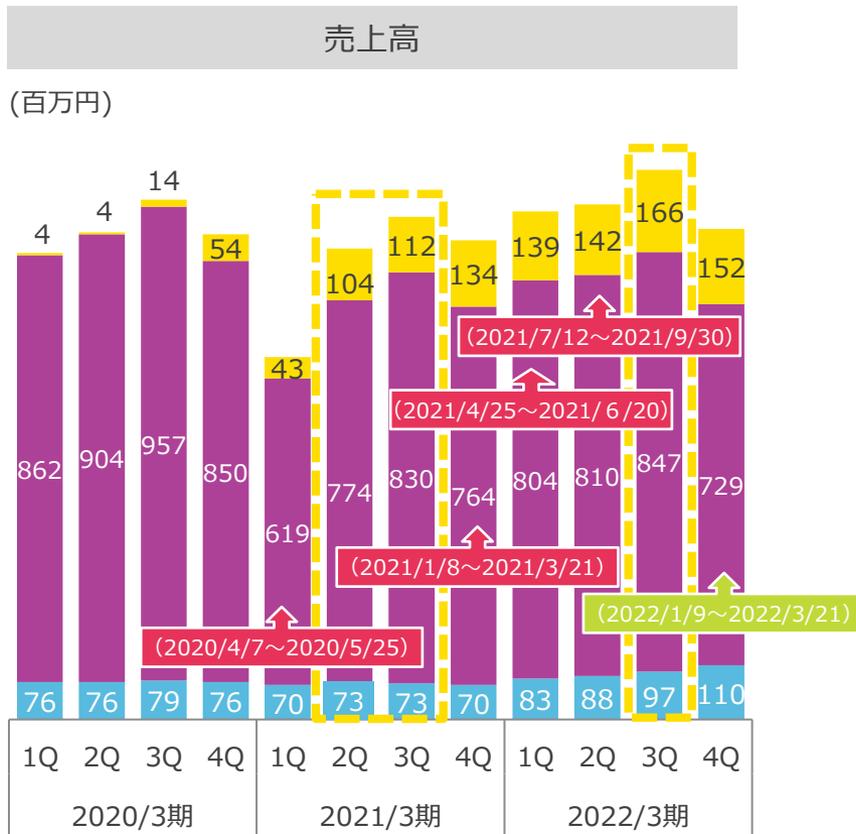
※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※期末総レセプト数及びマッサージ年間利用回数は、マッサージ直営事業における数値を記載しております。

※開示上のその他の事業のセグメントを訪問看護と看護小規模多機能型居宅介護に分けて表記しております。

四半期別セグメント業績推移

- 2022年3月期4Qでは、マッサージ直営事業はまん延防止等重点措置発令による影響を大きく受けた
- 第1回緊急事態宣言（2020/4/7～2020/5/25）の休止期間に症状悪化がみられた以降は、症状改善に向けたマッサージ需要が増加、売上、営業利益ともに回復傾向

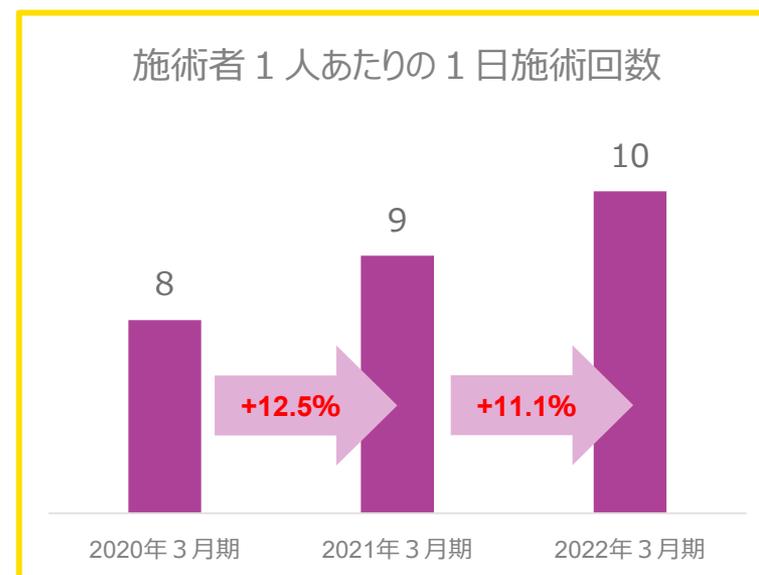
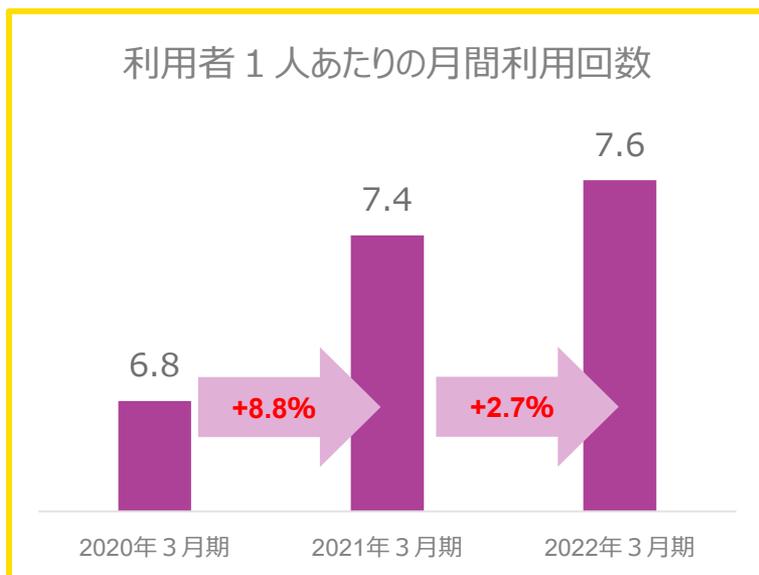
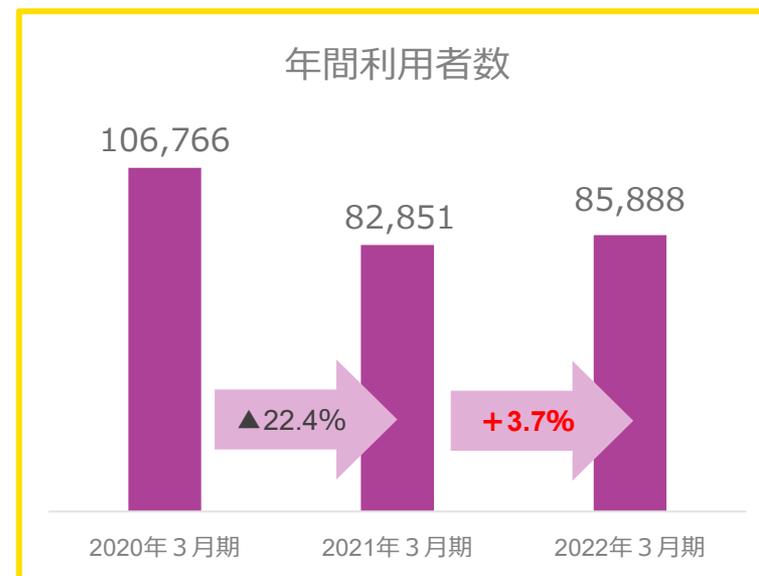
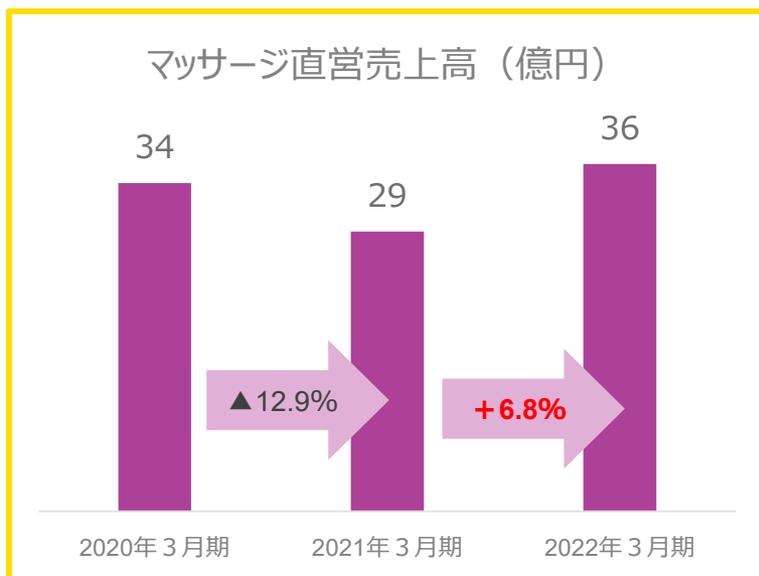


東京都における緊急事態宣言期間

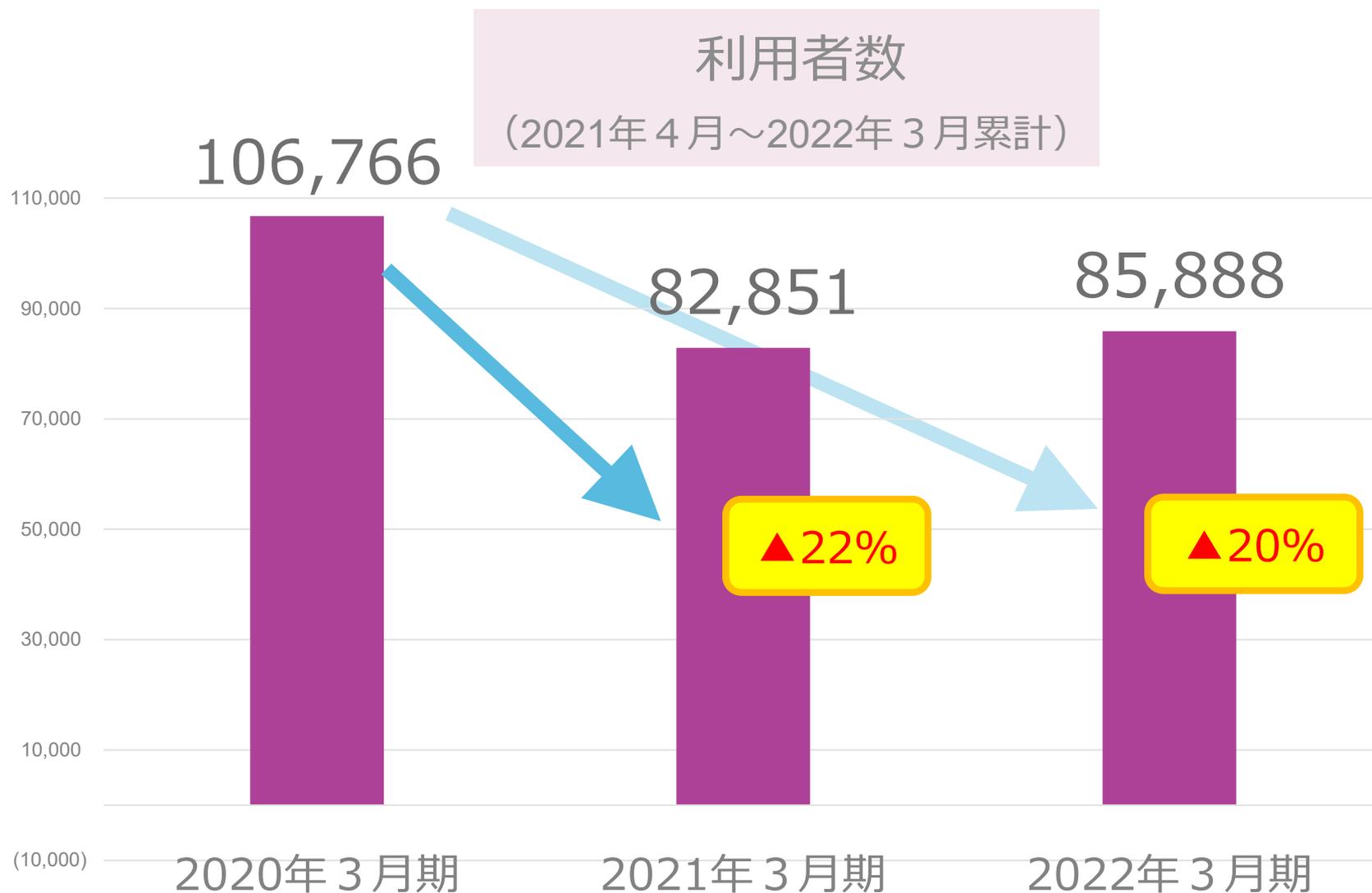
東京都におけるまん延防止等重点措置期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。

マッサージ直営売上高と主要KPIの年間推移

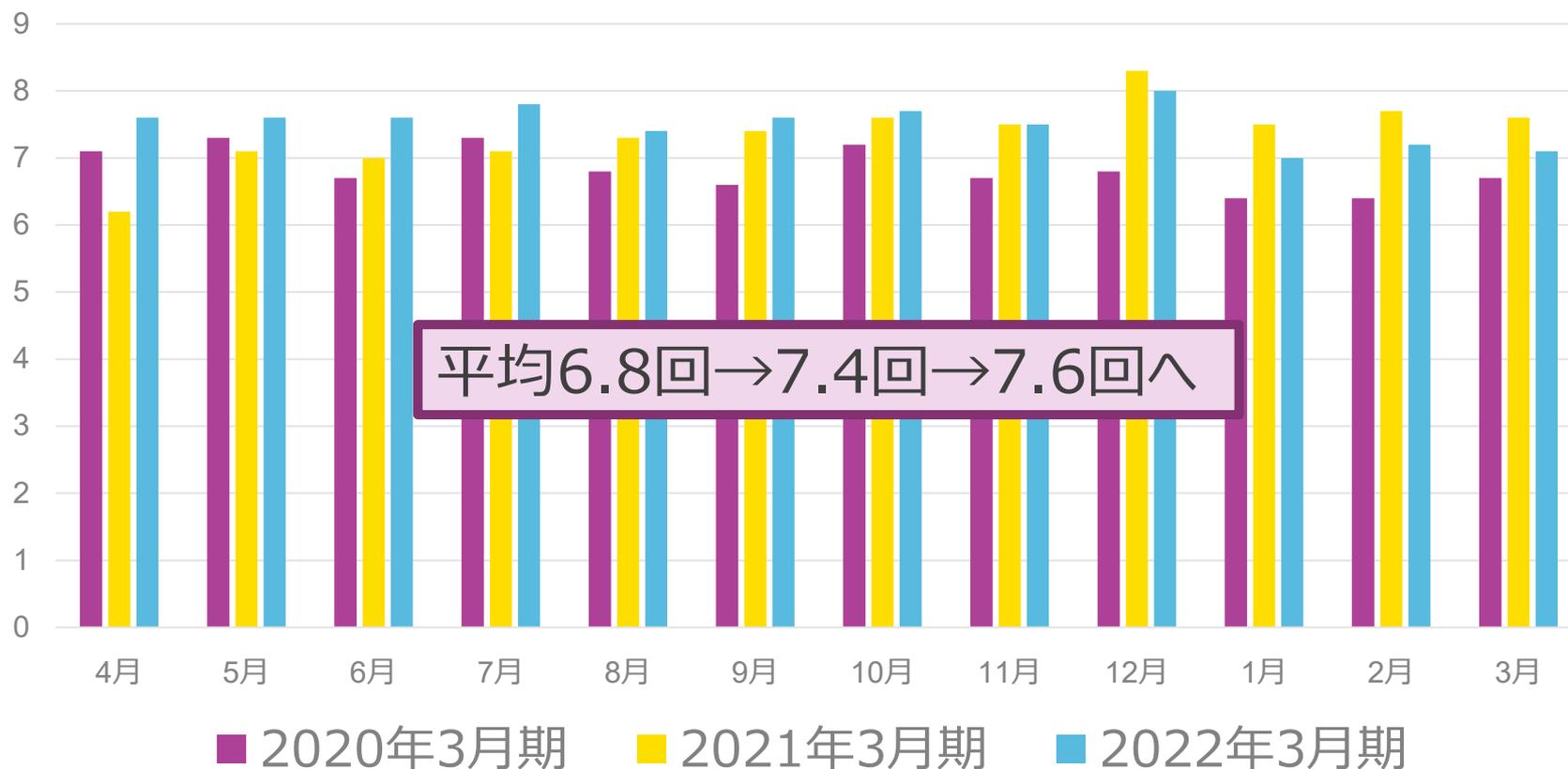


マッサージ直営事業におけるコロナ前との比較①



マッサージ直営事業におけるコロナ前との比較②

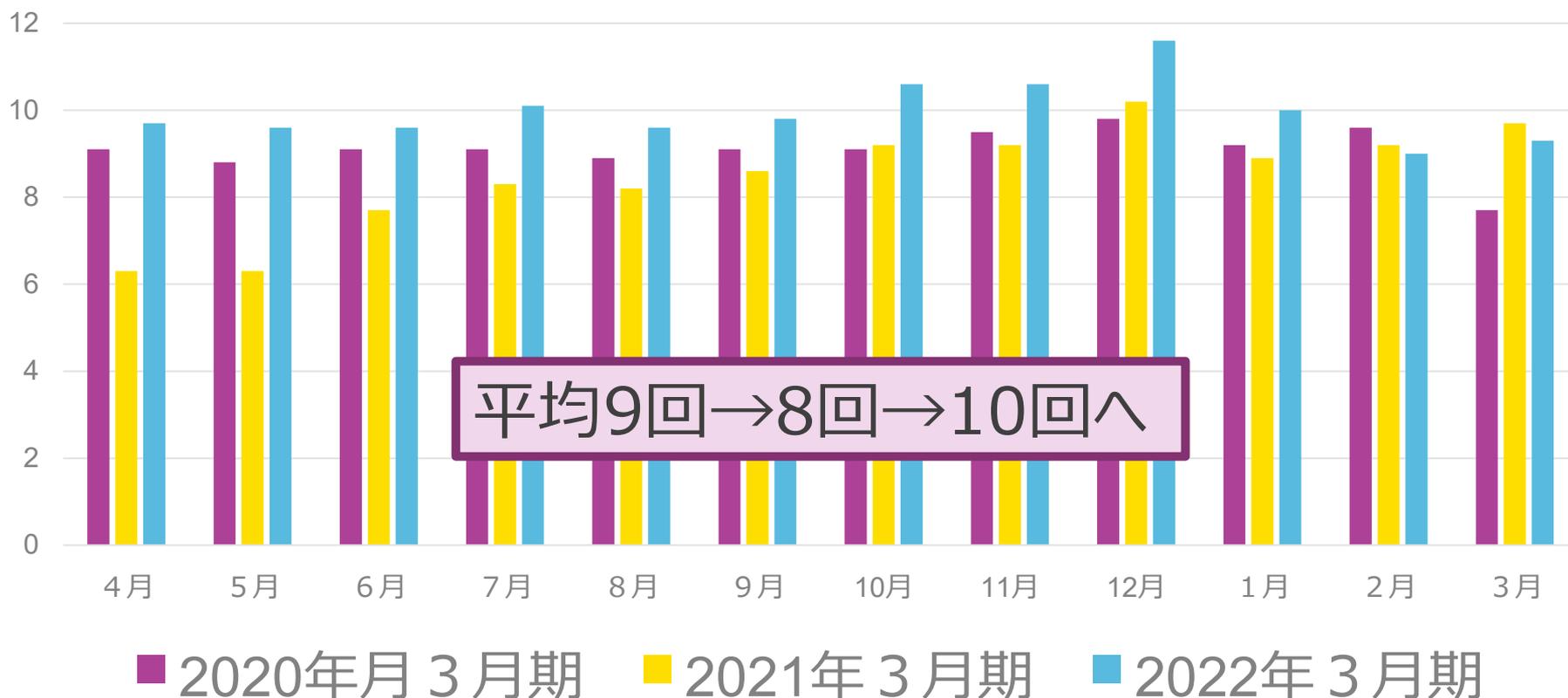
利用者1人あたりの月間利用回数
(2021年4月～2022年3月)



マッサージ直営事業におけるコロナ前との比較③

施術者1人あたりの1日施術回数推移

(2021年4月～2022年3月)



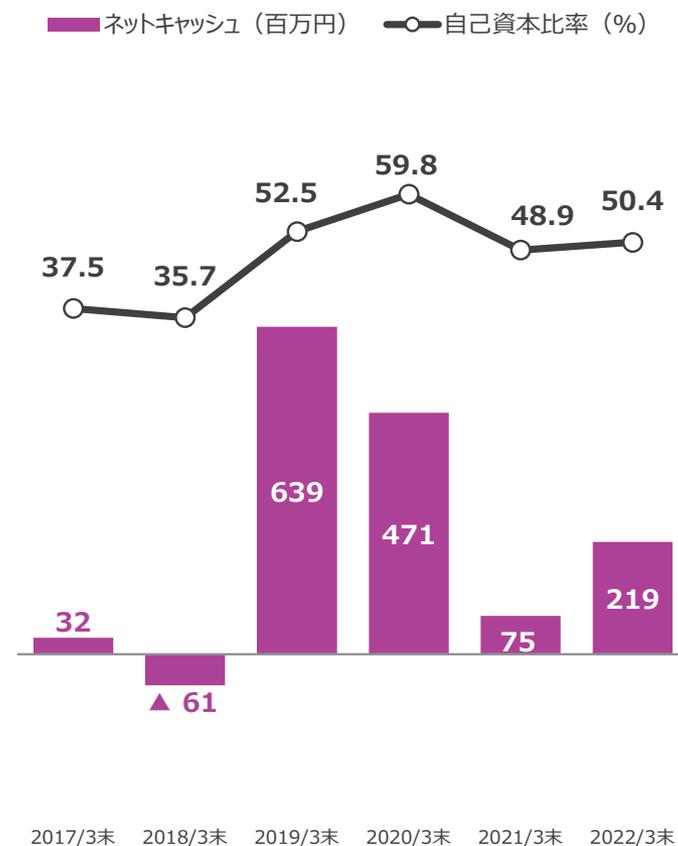
- 「フレアス在宅マッサージ」のフランチャイズ新規開設数が45拠点と順調に推移。
- 「レイス治療院」の未稼働店であった12拠点を整理したが、収益面に与える影響はほとんどなく、フランチャイズ加盟店は32拠点の純増。
- 訪問看護 3 拠点、訪問介護 1 拠点増加し、合わせて10拠点へ

	2021/3月末 拠点数	2022/3月末 拠点数	2022/3月末 計画	2021/3月末 増減数	2022/3月末 計画比
在宅マッサージ	326	354	346	+28	+ 8
うち直営店	89	85	85	▲ 4	—
うちフランチャイズ 加盟店	237	269	261	+32	+ 8
訪問看護	5	8	7	+ 3	+ 1
訪問介護	1	2	2	+ 1	—
看護小規模多機能型 居宅介護	—	1	1	+ 1	—
合計	332	365	356	+33	+9

バランスシートの状況

- 借入金の返済と利益計上により、ネットキャッシュが219百万円に
- 利益の計上等により、純資産額が159百万円増加
- 自己資本比率は50.4%と健全

(百万円)	2021/3末	2022/3期	対前期末比
流動資産	2,535	2,600	+64
現預金	1,222	1,214	▲8
売掛金	891	953	+62
固定資産	654	789	+135
有形固定資産	17	138	+120
無形固定資産	565	542	▲23
資産合計	3,189	3,390	+200
負債	1,630	1,671	+40
有利子負債	1,146	995	▲151
純資産	1,559	1,718	+159
負債純資産合計	3,189	3,390	+200

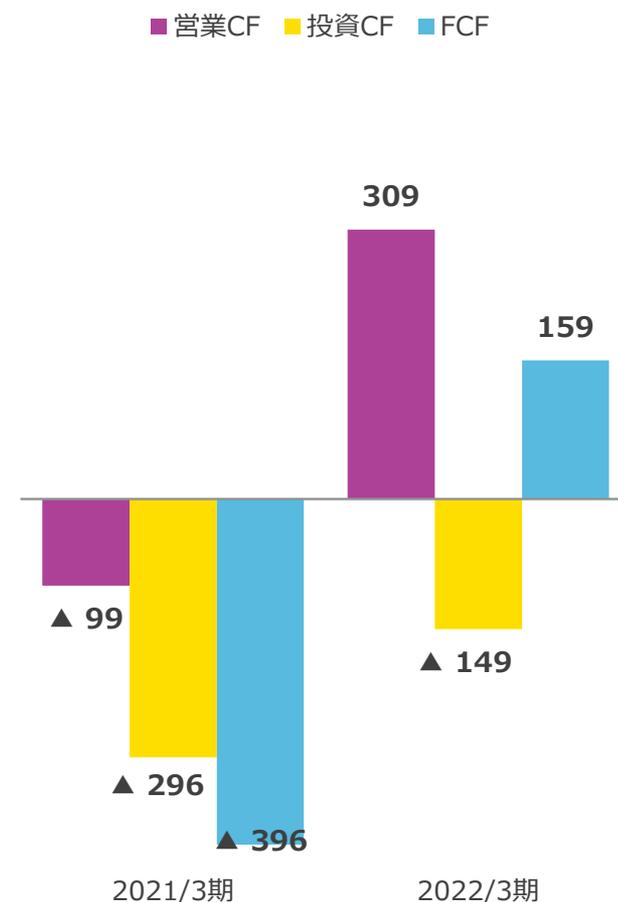


※ネットキャッシュ (ネットキャッシュ=現預金-有利子負債)

キャッシュフローの状況

- 利益の計上と立替金の減少により、営業CF、FCFともにプラス
- 看護小規模多機能型居宅介護の拠点新設等により、有形固定資産取得による支出が▲120百万円に
- 現金及び現金同等物の期末残高が1,214百万となり、前期並みを維持

(百万円)	2021/3期 累計	2022/3期 累計	対前期比
営業CF	▲99	309	+409
税金等調整前当期純利益	112	258	+146
減価償却費	35	43	+8
売上債権の増減	104	▲57	▲161
立替金の増減	▲365	▲6	+359
法人税等支払額	▲25	▲38	▲12
投資CF	▲296	▲149	+147
有形固定資産取得による支出	▲1	▲120	▲119
連結の範囲変更に伴う 子会社株式の取得により収入	▲292	2	+295
FCF*	▲396	159	+556
財務CF	464	▲160	▲625
有利子負債増減	462	▲163	▲626
現金及び現金同等物の期末残高	1,215	1,214	▲1



※FCF (フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー)

マッサージ直営事業

方針

- 介護施設への営業を強化
- 利用者の症状を鑑み、サービス提供回数の増加を図る
- 高付加価値マッサージ*サービス（高単価）の提供
*高付加価値マッサージ：従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

進捗

- ▶ 提携介護施設数は前年同期比に比べて26%増と堅調に推移
- ▶ サービス利用回数は年々増加傾向にあり、ADL・QOL向上に貢献
- ▶ 高付加価値マッサージサービスの提供は高水準を維持（変形徒手率は前期より毎月上回る）

DX



「さちある」とは、
当社独自のAIを使った
簡単身体機能解析アプリ
スマホで歩行動画を「撮る」だけで、簡単歩容
解析が可能。
理学療法士の知見を基に開発されたAIが現
場のアセスメントを支援。



未来創造ラボ設立
（研究開発）



産総研との研究、マッサージのエビデンス化



（株）ブレインスリープとの共同研究

人材開発部増強
による採用強化



採用部署の強化
人材開発部拠点：東京、大阪、仙台
専門学校との連携を強める

マッサージフランチャイズ事業

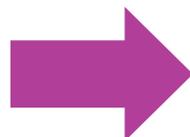
方針

- 更なる拠点数拡大を図る
- リモートを活用した研修体制の確立
- フランチャイズ加盟店数は261拠点*
(前期比24拠点増)
* 2022/3末時点

進捗

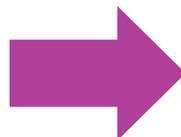
- ▶ 半数以上のオーナーがSVによる1か月間営業支援込みの新プランに加入
- ▶ リモートを継続的に活用することで、研修だけでなく営業効率も向上
- ▶ フランチャイズ加盟店数は、新規開設は48拠点と順調に推移し、計269拠点と目標達成（103%）

支援強化



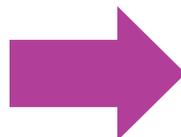
出店後SVが1か月間
営業支援をする新プラン導入

出店後の早期立上げ



法人営業部が施設営業を
強化することでフランチャイズ加盟店の
新規出店後の早期立上げを加速

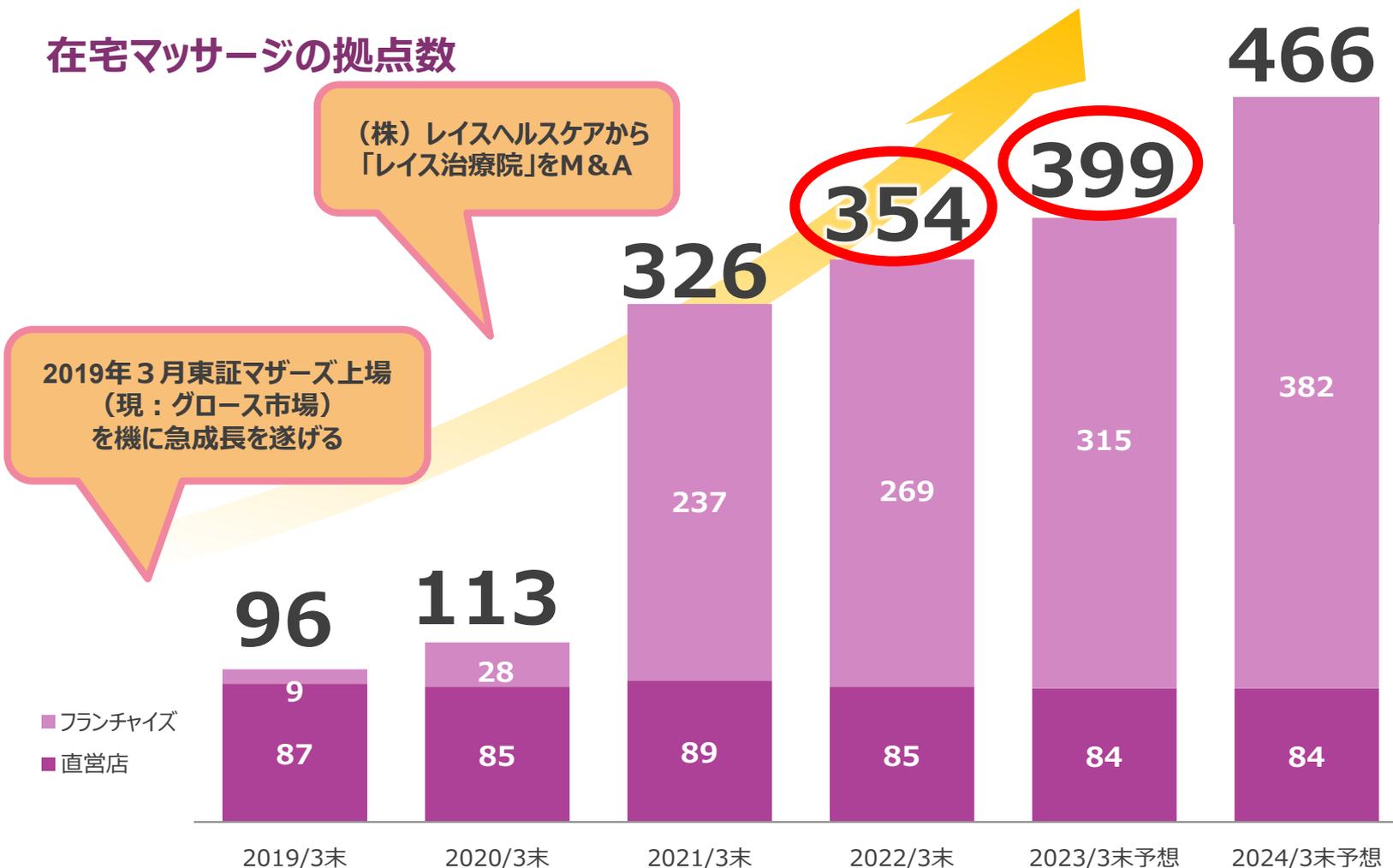
人材開発部増強による採用強化



採用部署の強化
人材開発部拠点：東京、大阪、仙台
専門学校との連携を強める

フランチャイズ（FC）事業を本格展開しサービスエリアを拡充

在宅マッサージの拠点数



その他事業

方針

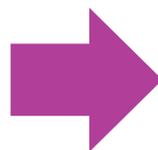
- 新たに看護小規模多機能型居宅介護事業を開始
従来の訪問看護・訪問介護と連携しサービス拡充を図る
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所 1 拠点及び
訪問看護ステーション 2 拠点の新規開設を計画

進捗

- ▶ 2021年 5月訪問看護水戸開設
2021年10月訪問看護千葉開設
2022年 3月リファイン白金高輪M&A
- ▶ 2022年 3月看護小規模多機能型居宅介護施設を千葉に開設
培ってきた地域ネットワークを基に利用者の早期獲得達成

2023年3月期 事業方針（その他の事業）

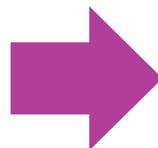
看護小規模多機能型
居宅介護施設
展開開始



2022年3月期	2023年3月期
1 拠点	5 拠点 4 拠点開設予定

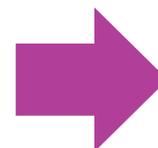


自社内での連携



フレアス在宅マッサージ、訪問看護、
看護小規模多機能型居宅介護
によって自宅療養者の
ワンストップケア体制を整える

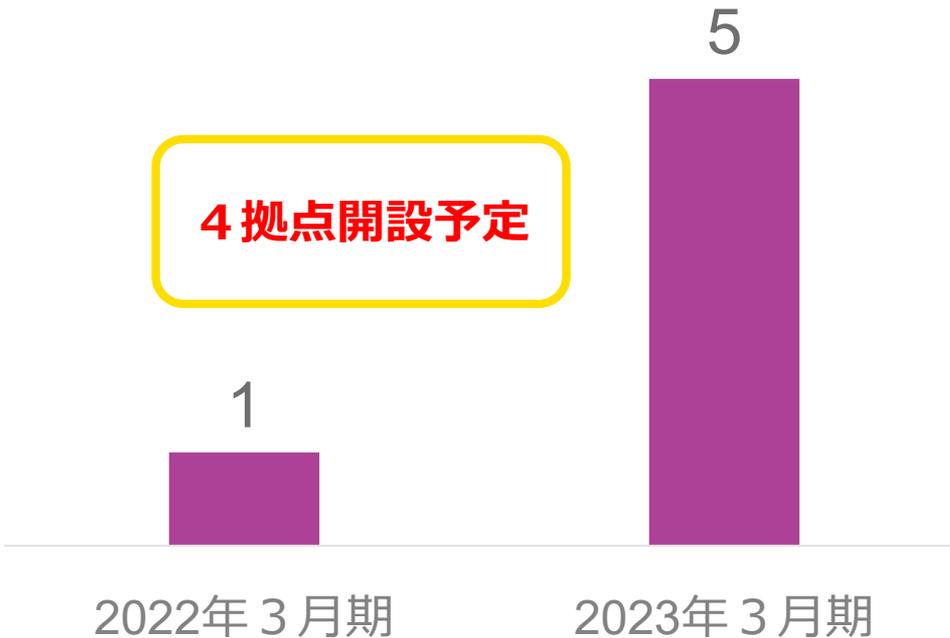
人材開発部増強による採用強化



採用部署の強化
人材開発部拠点：東京、大阪、仙台

エリアを見極めながら新設を推進

看護小規模多機能型居宅介護施設数



2022年7月
2号店水戸に開設予定！



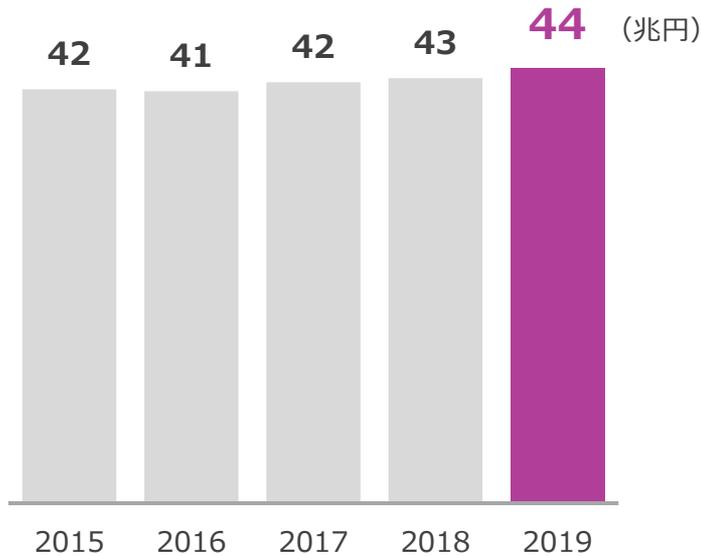
※写真はイメージです

1 : 在宅療養のニーズが高まる

政府の課題意識

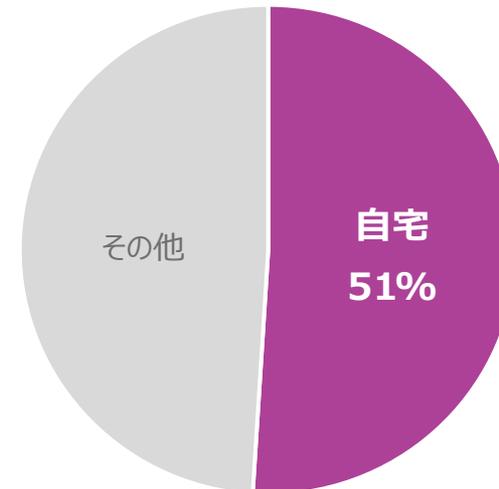
国民医療費

高齢者人口増加、医療水準向上等で国民医療費は増加に歯止めがかからず2019年度は43.6兆円と過去最大の額



最後を迎えたい場所（60歳以上）

60歳以上の51%が「最期を迎えたい場所」として慣れない病院より、住み慣れた「自宅」を挙げる

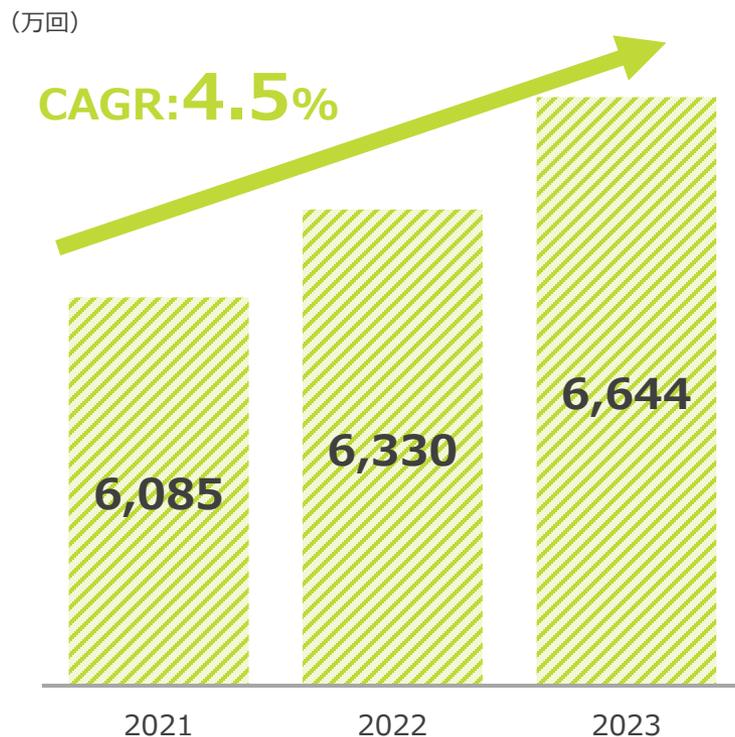


市場環境について

2 : 訪問看護サービス・看護小規模多機能型住宅介護サービス

訪問看護の利用量見込*1

医療ケアは必要だが、病状は安定しており
自宅で療養する高齢者が増加

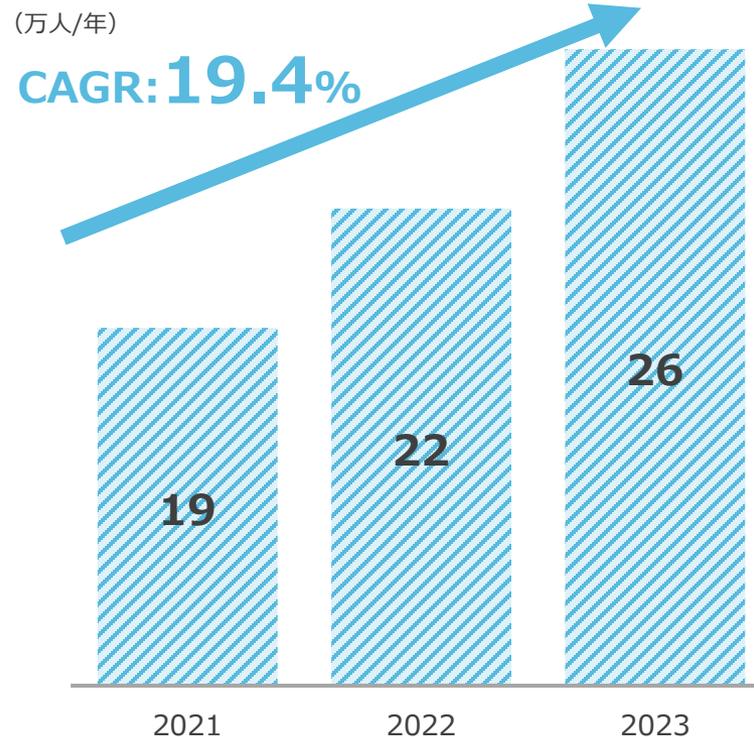


出所：各都道府県、介護保険事業支援計画, 2021

*1 各都道府県で集計された訪問看護、および介護予防訪問看護のサービス量見込を合算但し、茨城県、長野県と2022年佐賀県はデータなし

看護小規模多機能型居宅介護の利用者数見込*3

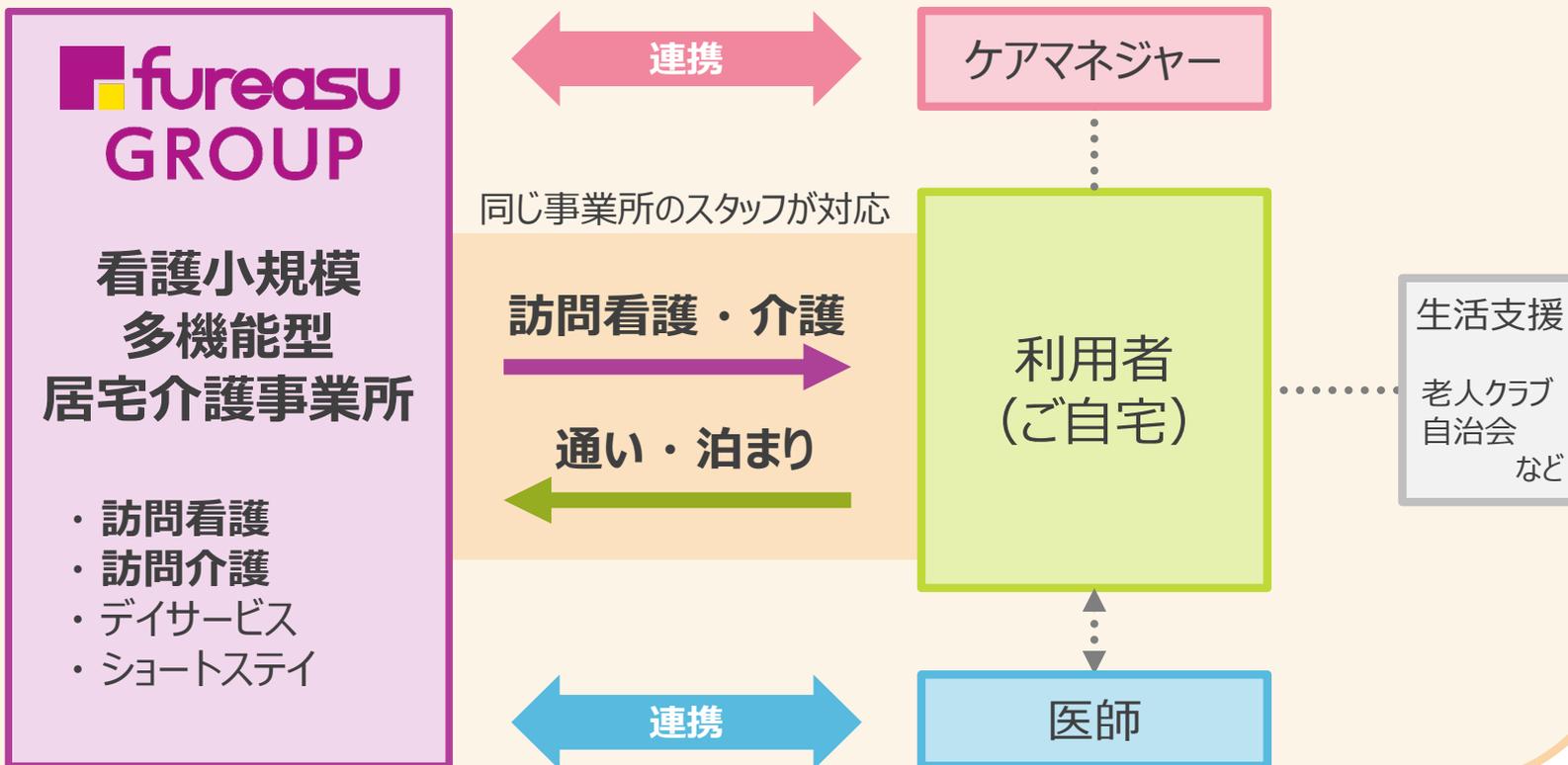
退院後、医療ケアを自宅で受ける高齢者と、
それに伴うレスパイトケア*2の必要性が増加

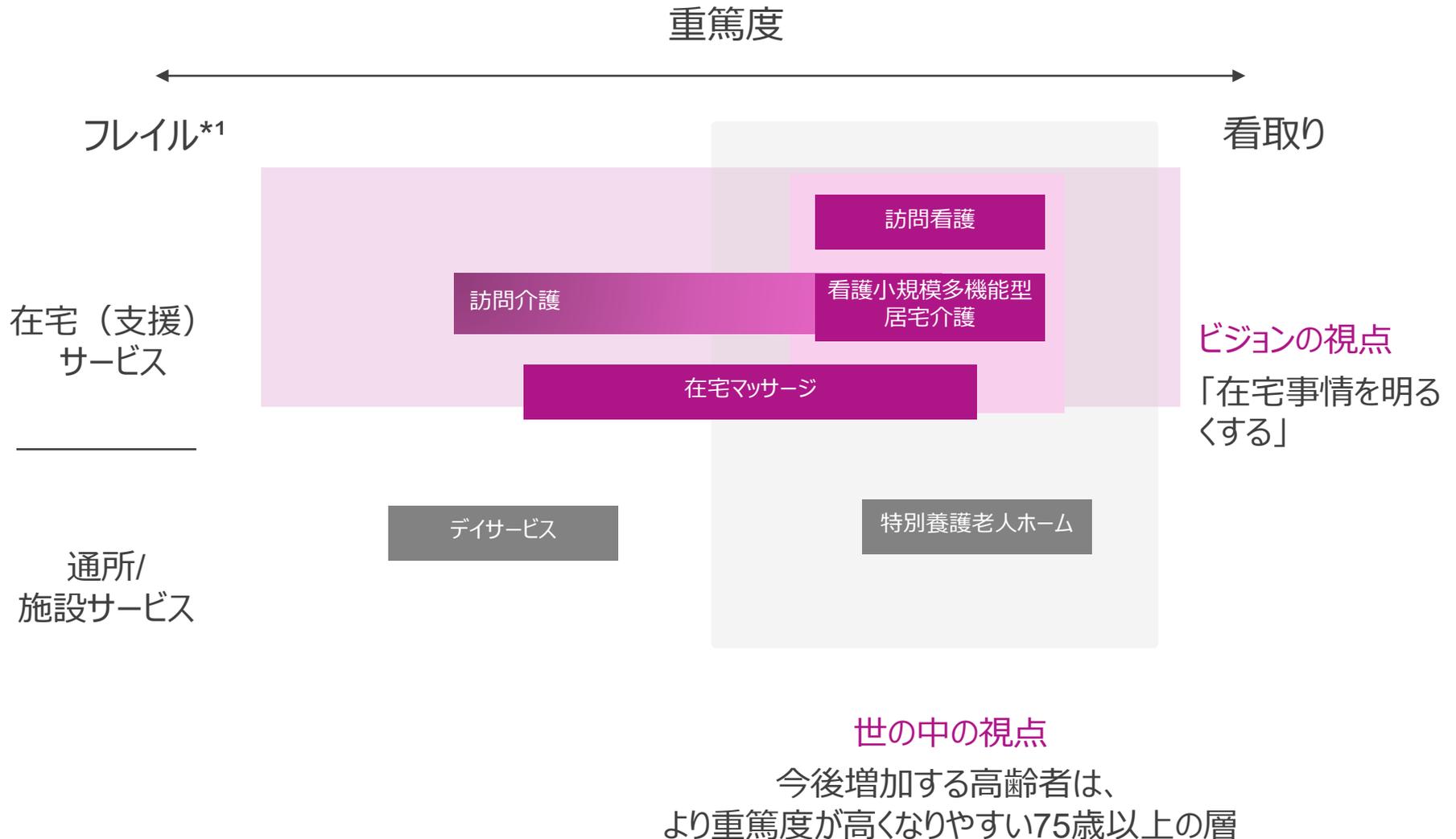


*2 介護者が一時的に介護から解放され、リフレッシュや休息をとる介護者のためのケア

*3 各都道府県で集計された訪問看護、および介護予防訪問看護のサービス量見込を合算但し、茨城県、長野県と2022年佐賀県はデータなし

看護小規模多機能型居宅介護とは





*1 フレイル：加齢より体力や気力が弱まっている状態

マッサージ事業会社から在宅領域を 総合的に支援する会社へ

2026年3月期
売上高95億
看護小規模多機能型
居宅介護事業の拡大



(百万円)	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2026年 3月期
売上高	4,174	5,129	6,311	9,500
営業利益	184	154	329	未定

2023年3月期 通期 決算予想

- コロナ禍の影響も徐々に収束することを想定し、増収を見込むものの、新規事業である看護小規模多機能型居宅介護の展開に向けた先行投資により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに減益予想

(百万円)	2022/3期	2023/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
売上高	4,174	2,390	5,129	+22.8%
売上原価	2,095	1,154	2,475	+18.1%
売上総利益	2,078	1,236	2,653	+27.6%
販管費	1,894	1,198	2,499	+31.9%
営業利益	184	37	154	▲16.2%
営業外収益	49	0	29	▲39.2%
営業外費用	10	1	4	▲59.1%
経常利益	223	36	180	▲19.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	9	93	▲37.6%
1株当たり当期純利益	63.30	3.91	39.88	▲37.0%
売上高総利益率	49.8%	51.7%	51.7%	+1.9pt
営業利益率	4.4%	1.6%	3.0%	▲1.4pt
経常利益率	5.3%	1.5%	3.5%	▲1.8pt

2023年3月期 通期 決算予想 (セグメント)

- マッサージ直営事業はコロナの影響を勘案しつつも、利用者の再開・増加を見込み、**増収増益**予想。
- マッサージフランチャイズ事業は、専門部署の体制強化により**大幅増収増益**予想
- その他の事業では、看護小規模多機能型居宅介護施設の新設による先行投資を見込み、増収減益予想

(百万円)	2022/3期	2023/3期		対前期比
	実績	上期予想	通期予想	
売上高	4,174	2,390	5,129	+22.8%
マッサージ直営	3,192	1,735	3,588	+12.4%
マッサージフランチャイズ	601	379	841	+39.9%
訪看	372	214	466	+25.4%
看護小規模多機能型居宅介護	6	61	232	+3449.1%
営業利益	184	37	154	▲16.2%
マッサージ直営	768	423	922	+19.9%
マッサージフランチャイズ	190	111	275	+44.5%
訪看	▲19	▲11	12	—
看護小規模多機能型居宅介護	▲40	▲54	▲147	—
調整	▲715	▲431	▲908	—
レセプト数 (件)	8,197	9,843	9,785	+1,588
利用回数 (回)	647,456	350,734	725,501	+78,045
マッサージ拠点数(FC含む)	354	379	399	+45

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※利用者数及び利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。

※開示上のその他の事業のセグメントを訪問看護と看護小規模多機能型居宅介護に分けて表記しております。

株主還元策として配当を開始

- 2022年3月期より配当金の開始 当面は配当性向20%を目指す
- 経営環境及び財務状況等を勘案の上、業績に応じた利益還元を今後も継続する予定

2022年3月期

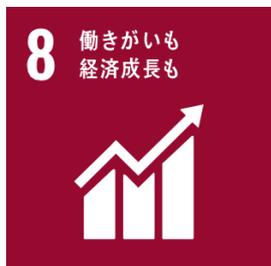
	期末	
年間配当金	10円57銭	予定
配当性向	16.70%	



当社のSDGs



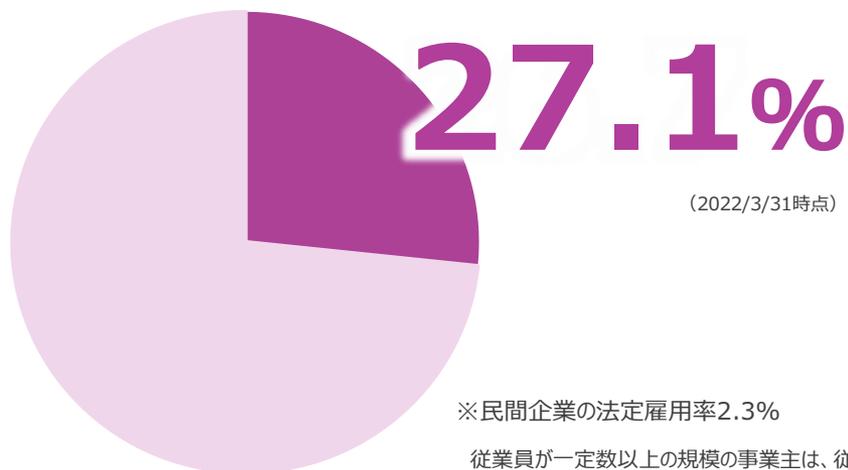
盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、 自立支援を促し、第一線で、戦力としての活躍する場を提供



音声読み上げ機能のついた電子機器や補助器具を貸与
パソコン（PCTカー）、携帯電話（らくらくホン）、iPad、拡大鏡など



当社の障がい者雇用比率



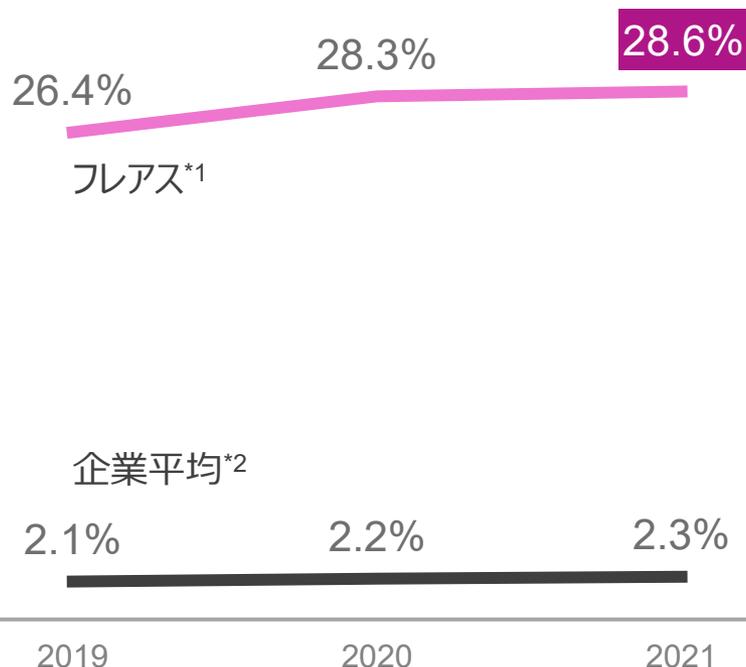
※民間企業の法定雇用率2.3%

従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があります。
(障害者雇用促進法43条第1項)



- 視覚障がい者を中心に積極的に雇用しており、これからも働きやすい環境づくりを進める

在宅マッサージ直営事業における障がい者雇用率の推移*1



働きやすさに関する取り組み例

ViXION

HOYA MW10 HiKARI

fureasu

ViXion社 共同開発オプション / fureasu PLAN



視覚障がい者の施術業務をサポートするために、“暗所視支援眼鏡ウェアラブルデバイス（MW10）”を活用した、施術業務支援ツールを共同開発

<https://fureasu.jp/wpcontent/uploads/2021/08/PRESSRELEASE%EF%BC%88MW10%EF%BC%89210726.pdf>

*1 各年7月1日時点

*2 雇用義務のある全企業

出所：厚生労働省、障害者雇用状況の集計結果、令和元年・令和2年



APPENDIX



- 日本の在宅事情をより明るくするため、総合的に支援する企業を目指す

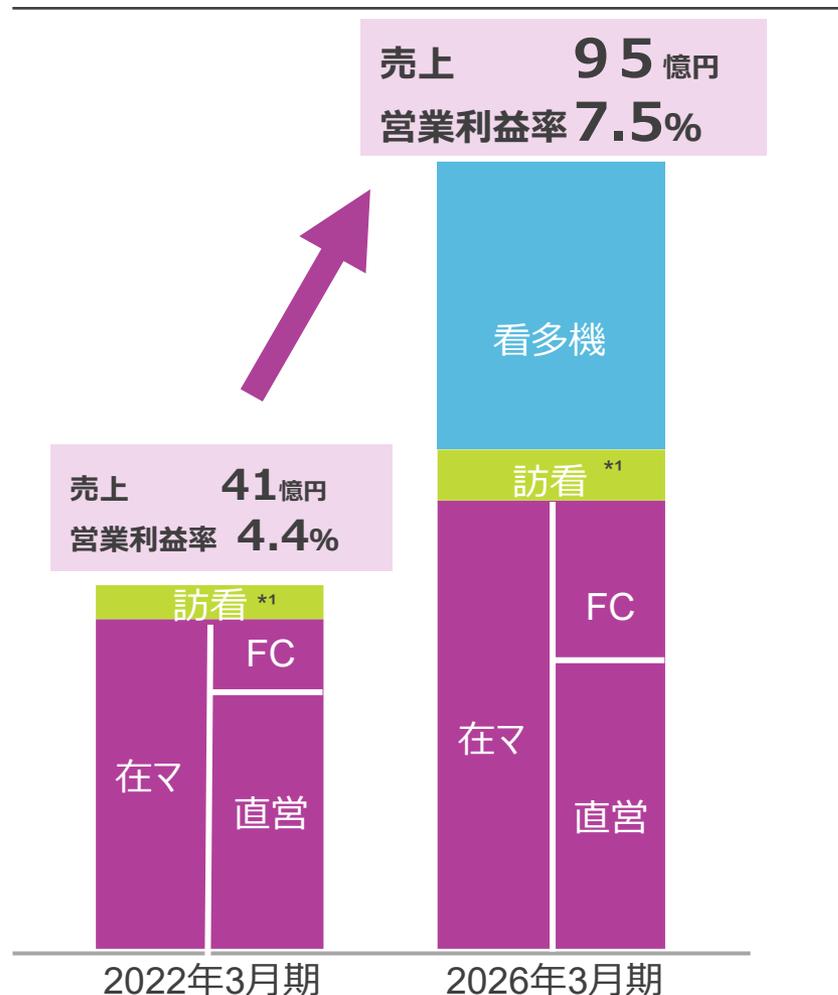


療養から看取りまで、日本の在宅事情をより明るく



*1 訪問介護2拠点の売上を含む

売上・利益目標



在宅マッサージ

訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護

FC中心の出店によるスピーディーな拡大

エリアを見極めながら新設を推進

- 上場企業としての知名度・信頼が、FCオーナー加盟店を加速
- 全国で展開している直営店が旗艦店となり、FC店舗の集客・品質管理等をきめ細やかに支援

- 在宅マッサージの全国展開により構築してきた各エリアでのケアマネジャーとのネットワークを活用し、施設を垂直立ち上げ

FC店舗の収益化モデル磨きこみ

- FC店舗が早期に収益化できるよう、有料老人ホーム等の施設との提携を拡大し、収益化モデルとして“型”に落とし込む

マネジメント人材の確保

新たなエリア・メンバーで、お客様で事業を創り上げていくことができる、マネジメント人材の採用を積極化

全社

自主・自律的組織の構築

状況に即して対応・変化していけるよう組織の自主性・自律性を高める

3年間の数値目標

- 2026年3月期に向けて新事業への先行投資を行いつつ、2024年3月期には売上高63億円、営業利益3億円を目指す
- 中期経営計画発表時からの2023年3月期の売上高予想の減少は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う建築資材の供給制約の影響による工期遅延によって、看護小規模多機能型居宅介護の開設時期の変更に伴い減収。

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2023/3期	2023/3期	2024/3期
	実績	実績	中計	計画	修正	計画
売上高	3,672	4,174	5,202	5,129	▲1.4%	6,311
マッサージ直営	2,988	3,192	3,588	3,588	0%	3,732
マッサージフランチャイズ	394	601	841	841	0%	1,053
訪問看護 ^{*1}	288	372	466	466	0%	525
看護小規模多機能型居宅介護	—	6	305	232	▲23.9%	999
営業利益	▲16	184	154	154	0%	329
マッサージ直営	483	768	914	922	+0.8%	973
マッサージフランチャイズ	118	190	275	275	0%	408
訪問看護 ^{*1}	14	▲19	12	12	0%	32
看護小規模多機能型居宅介護	▲2	▲40	▲131	▲147	—	▲28
調整	▲630	▲715	▲917	▲908	—	▲1,055

*1訪問介護2拠点の売上・営業利益を含む

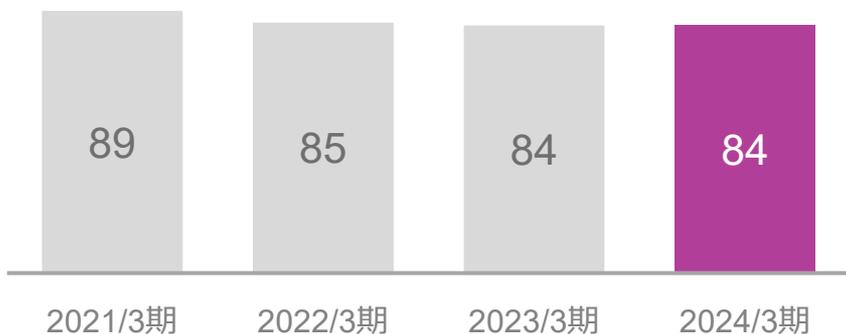
※訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護は開示上はその他に分類をしております

主要KPI：拠点数

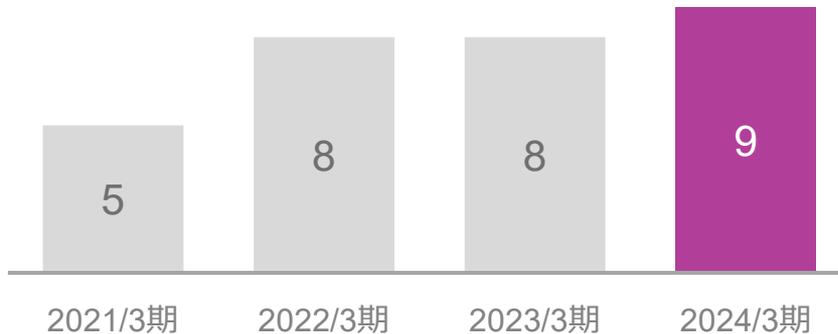
- 2024年3月期時点で、在宅マッサージ直営：84拠点、FC：382拠点、訪問看護：9拠点、看護小規模多機能型居宅介護：13拠点の運営を目指す

在宅マッサージ

直営



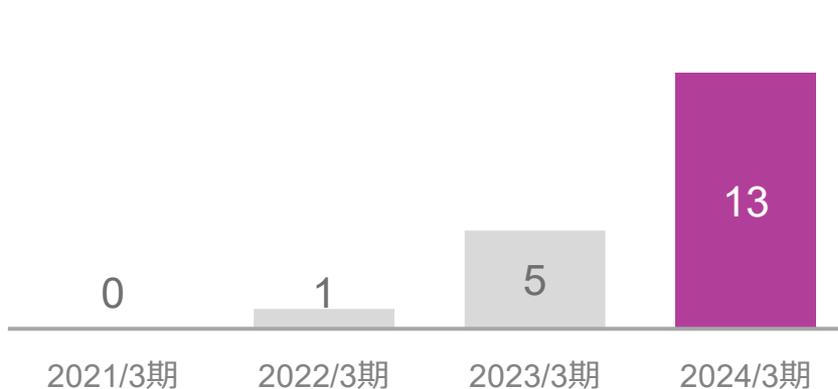
訪問看護



フランチャイズ (FC)



看護小規模多機能型居宅介護

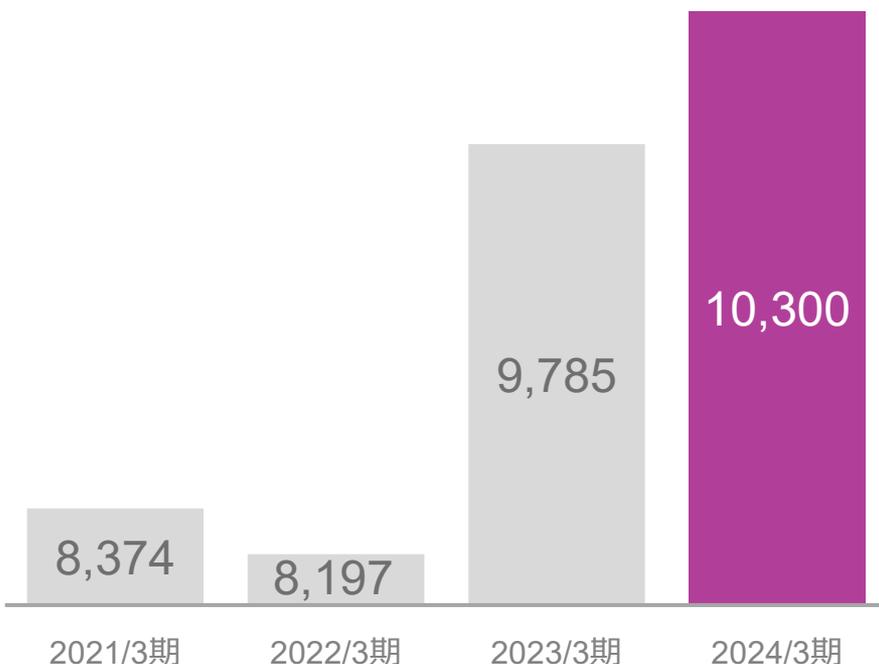


主要KPI：在宅マッサージ事業

- 2024年3月期時点で、在宅マッサージの総レセプト数10,300件、マッサージ年間利用回数762,216回を見込む

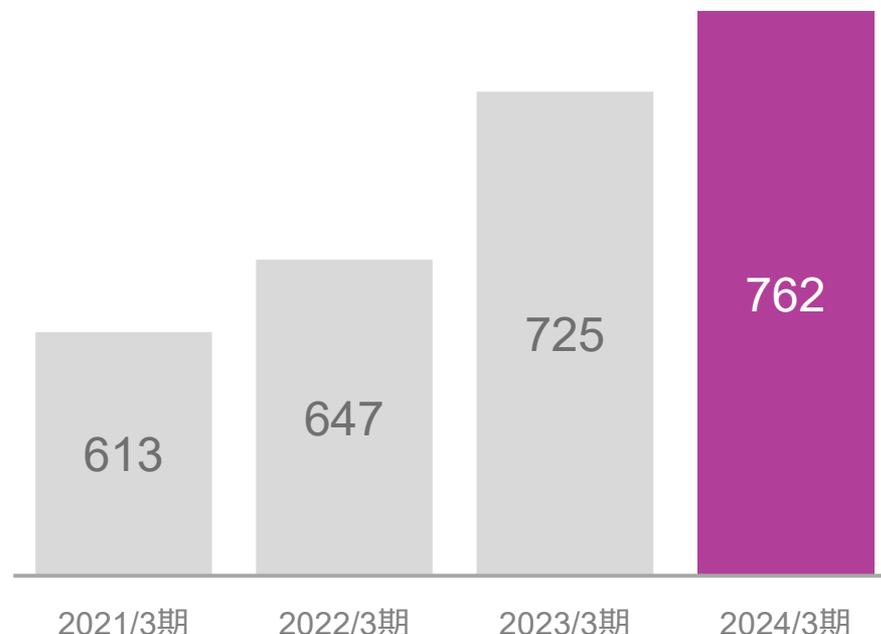
総レセプト数

(件)



マッサージ年間利用回数

(千回)

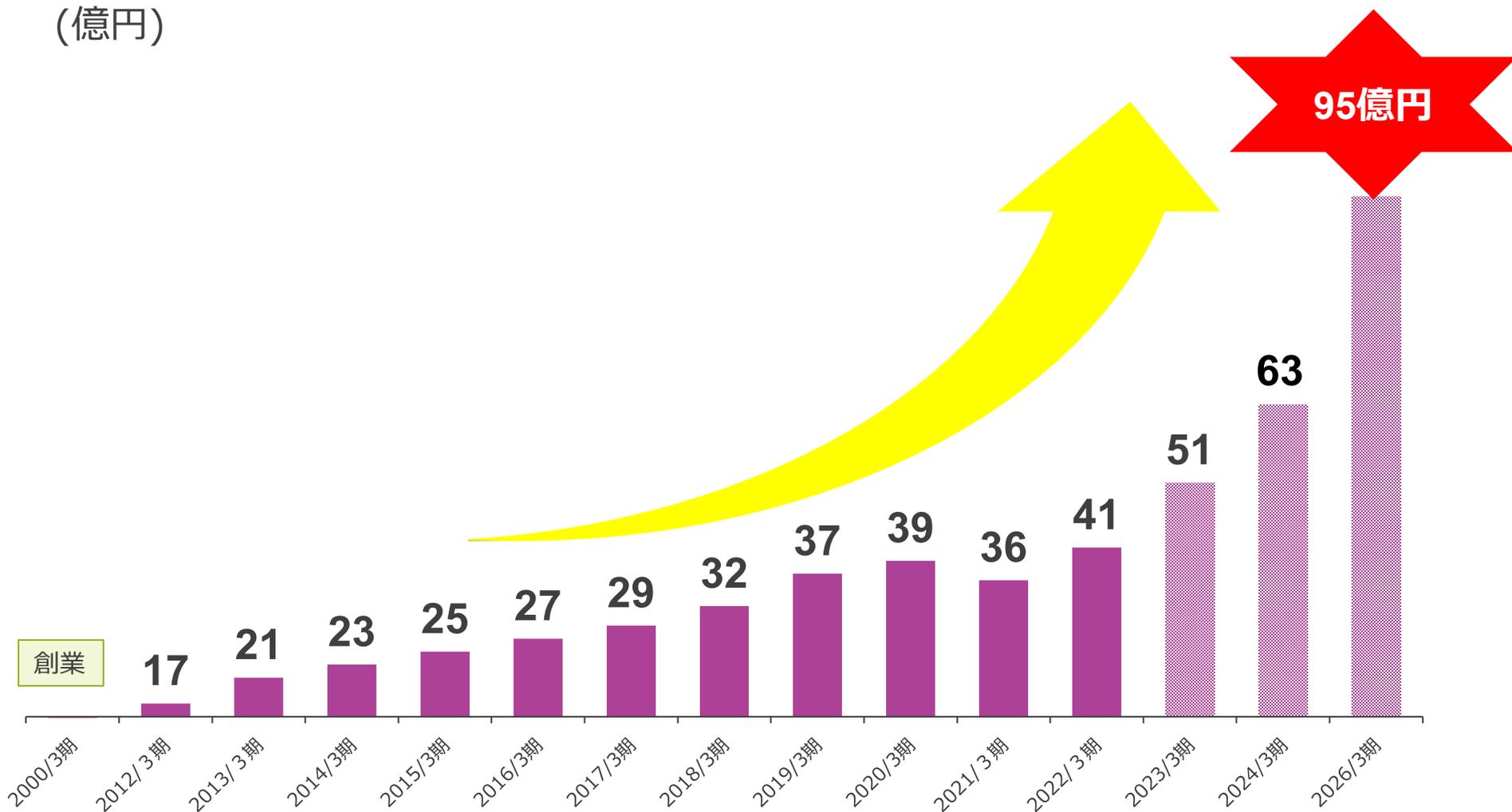


※2023年3月期の総レセプト数を中期経営計画時から修正しております (9,780→9,785)

※2023年3月期のをマッサージ年間利用回数を中期経営計画時から修正しております (726,806→725,501)

売上高推移

(億円)

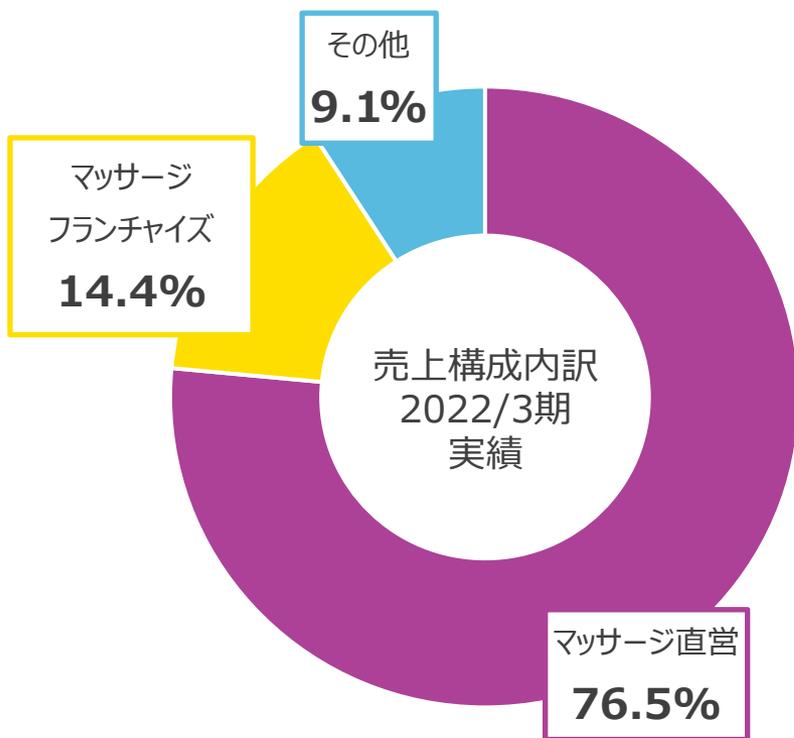




社名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.
代表者	代表取締役社長CEO 澤登 拓
創業年月	2000年7月（設立：2002年4月）
上場	2019年3月
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地
本社所在地	東京都渋谷区初台2丁目5-8西新宿豊国ビル2F
資本金	291,924（千円）〔2022年3月31日現在〕
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・マッサージ直営事業・マッサージフランチャイズ事業・その他の事業
売上規模	4,174,557（千円）〔2022年3月期〕
従業員数	616名〔2022年3月31日現在〕
拠点	365拠点：在宅マッサージ354、訪問看護8、訪問介護2 看護小規模多機能型居宅介護1 〔2022年3月31日現在〕
連結総資産	3,390,360（千円）〔2022年3月31日現在〕

* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている269事業所を含む

- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施、新たに看護小規模多機能型居宅介護事業も開始



マッサージ直営・マッサージフランチャイズ事業

- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
 - 事業所数：354拠点 (FC含む、2022/3末現在)
 - 屋号：「フレアス在宅マッサージ」「レイス治療院」

その他の事業

- 利用者宅や高齢者施設等への訪問看護事業が主体
- 訪問看護・介護ステーション・看護小規模多機能型居宅介護事業所を運営(11拠点、2022/3末現在)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾートナーレハケ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場
2019年7月	保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズの本格展開を開始
2020年6月	株式会社レイスヘルスケアより新設分割された株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化
2021年4月	スカイハート株式会社の株式を取得し子会社化
2022年3月	看護小規模多機能型居宅介護事業を開始

決算年月		2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577	3,672,197	4,174,557
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700	102,695	223,190
親会社株主に帰属する当期純利益 又は 当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879	59,320	147,853
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638	290,394	291,924
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600	2,332,600	2,336,600
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815	1,559,357	1,718,935
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483	3,189,895	3,390,360
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23	668.20	731.63
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48	25.44	63.30
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8	48.9	50.4
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1	3.9	8.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433	▲99,729	▲99,964	309,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330	▲296,836	▲149,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071	82,128	464,349	▲160,972
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764	1,147,832	1,215,381	1,214,211
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)	593 (150)	616 (176)

* 2021/3期より連結財務諸表を作成しているため、2020/3期以前は参考情報として個別財務諸表に基づく数値を記載

* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施。
2017/3期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞
株式会社フレアス
03-6632-9210
ir@fureasu.jp